



友垣よ

練馬区立石神井西中学校だより
令和五年四月十日 第一号
校長 井上 貴 推

ご入学、ご進級おめでとうございます

はじめまして。本年度、本校に着任いたしました井上貴雅でございます。どうぞよろしくお願いいたします。歴史ある校舎に素敵なお校歌。そして、何より始業式、入学式での生徒の皆さんの凛とした姿勢に感動しました。学校だよりのタイトルは校歌にも歌われた「友垣よ」としました。今回は、入学式の校長式辞を抜粋にて掲載いたします。

令和五年度 入学式式辞

ここ練馬区にゆかりのある牧野富太郎博士が愛した様々な花々が、本校生徒の皆さんによって、今日も花びらをたくさんつけてこの善き日を祝ってくれています。本日、令和五年度の入学式を挙行できますことを、まことに光栄に存じ厚くお礼を申し上げます。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんの入学を心から歓迎いたします。

背を真っ直ぐに伸ばし、そしてしっかりと整理をして体育館へ入場する姿に、「今日から石西中の生徒として頑張ろう」という意気込みを感じました。こうした皆さんの姿は、『凛とした石神井西中学校の生徒』の基本であり、心強く思いました。つい二週間前まで小学生であったとはとても信じられず、おうちの方々も小学校の先生方も、きっと喜んでおられることと思います。

石神井西中学校は、昭和二十二年に開校して以来、七十有余年を迎える伝統ある学校です。開校以来、校歌でも謳われている「自由・自治」を育み、「叡智・健康・自治・共生」を校訓に、多くの卒業生が巣立っていったこの学び舎で皆さんは入学式を迎えました。

私は校長になることが決まってから、この学校での自分の目標を考えてきました。そして「この石神井西中学校に入学してきた生徒たち

が幸せになることを常に考えて実行していくぞ」ということを決意しました。

人間は、どうしたら「幸せになった」と実感するのでしょうか。幸せは、人それぞれ感じるものですから、それぞれの人が自分に合った幸せを感じることが大切だと思います。

ただ、私が今までの自分の人生を振り返って、今まで読んできた本や周囲の皆さんから伺った話を思い出しみると、幸せになる近道があることに気がつきました。それは、「人の役に立つこと」によって幸せになれる」ということです。

皆さんはこれから様々なことを学び、やがて社会人になります。そうした中で「自分のやりたいこと」を大切にすることだけをやっていると、「人の役に立つことのない人」は、幸せを実感することはできないと私は思います。逆に世の中には「自分のやりたいことは残念ながらできない人」たちが「自分のやりたいことができている人」がたくさんいます。これらの輝きを失っているかという点、決してそんなことはありません。「人の役に立っている人」は、「自分のやりたいことをしっかりと見つけ」、同時に「それをやることで人の役に立つ」ことで心の底から幸せだと思える人生を歩んでほしいと願っています。

中学校生活は、たくさん気の合う友人や信頼できる先生と出会う、その人たちと色々な活動をすることで、楽しくなり充実します。どうすればそのような友人や信頼できる先生と出会えるのでしょうか。人は皆、自分を成長させてくれる人と知り合いたいという気持ちがあるか、どこかにあると思います。ですから、皆さんが誰かの役に立つようには心掛けて生活していれば友達は増え、信頼できる先生と出会うことは教えることでも聞いてあげることでもいいし、自分の得意なことを教えることでもいい、と思います。「人の役に立つこと」が幸せになれる」ということを、いつも心の片隅に留めておいてほしいと思います。

さて、入学式は卒業式と違って練習が全くできない、いわばぶっつけ本番という状況で行われます。知らない人も多く、初めての場所で行われる儀式ですが、皆さんは立派に式の主役として参加しています。これは小学校時代、それぞれの学校でのご指導によるたまものだと思います。

これから皆さんが入学する、この石神井西中学校の先生方も皆さんに対して、あらゆる手助けを惜しみません。また、二、三年生も自分たちの経験を基にして、きつとあたたく応援してくれます。保護者や地域の方々も必ず支えとなってくださいます。

しかし、頑張り、努力するのは皆さん一人一人、自分自身であることも忘れないでください。このような本校で学べることを誇りに思い、多くの先輩たちが過ごしていったこの学び舎で石神井西中学校の新たな伝統を作り出してくれることを期待します。

保護者の皆様にとってかけがえのない大切なお子様を本日、石神井西中学校にご入学いただきました。立派なお子様の姿に、感慨もひとしおのことと拝察いたします。本校に勤務いたします教職員全員、全力を挙げてお子様方の成長のために努力してまいります。

「中学生」という時期は個の確立のため、大人からの干渉を嫌い、自らの価値観を築こうと、もがき、葛藤を繰り返す時期であります。そのような時期だからこそ、学校と家庭が協力していくことが何より重要であると考えております。お子様の教育に関わる悩みや疑問を持たれた場合は、どうかご遠慮なく学校にご相談くださるよう、お願いいたします。現代の社会には、様々な問題が内在しており、それらの影響から、けっして短時間には解決しないことも多いと思います。そんなときこそ、ご一緒に、一人一人のお子様にあった望ましい方策を考えて、実行して参りたいと思います。どうぞ三年間よろしくお願ひ申し上げます。

新入生の皆さん、改めておめでとう。これから一緒に楽しく素晴らしい学校生活を過ごしていきましよう。

令和五年四月七日

練馬区立石神井西中学校長 井上貴雅